

登山、高齢者に人気

「山の日」で総務省調査

登山やハイキングは高齢者に人気。今年から11日が「山の日」として国民の祝日になったのに合わせ、こうした傾向をあらためて裏付ける調査結果を総務省

が10日公表した。直近となる2011年の社会生活基本調査から関係する項目を分析した。

とがある人の割合は、当時の年齢で男性が65～69歳の13・2%、女性は60～64歳の12・0%が最も高かった。一方で15～19歳は男性6・2%、女性5・0%にとどまった。

その15年前の1996年調査では45～54歳で割合が高く、これが11年調査の60～69歳に当たる。若いころから山に親しんでいた人が多いとみられる「団塊の世代」を含む年齢層で人気が高い。

11・1%で6位、女性が10・1%の7位で、男女合わせると10・6%で7位だった。

皇太子さま出席

皇太子さまは10日、長野

県松本市内のホテルで第1回「山の日」記念全国大会の歓迎レセプションに出席し、飲み物を手に各地の山岳関係者と懇談された。皇太子さまは11日の式典に出席するため、ご一家で松本市訪問している。

レセプションには登山家の今井通子さんが招待された。ご夫妻は宮内庁を通じて「3人で地方での式典に出席するのは初めてですが、第1回山の日記念式典に出席し、上高地の雄大な自然に触れることを楽しみにしています」と感想を公

都道府県別に見ると、15歳以上で登山やハイキングを楽しむ人の割合が高かったのは東京の13・9%がトップ。以下は奈良、神奈川の順だった。本県は男性が

11日は「山の日」。那須町湯本のなす高原自然の家は、これを記念して10日、殺生石周辺を巡るハイキングを行った。

県内から応募した17人と講師など計27人が、つじ吊り橋や「恋人の聖地」として知られる那須高原展

県民ら記念ハイク

望台、殺生石、温泉神社など約5kmのコースを歩いた。

同自然の家は、毎年9、10月の2回、登山やハイキ



ングを行う「エンジョイネーチャー」を開催しているが、今年は山の日に合わせて8月10、11の両日にも実

きょう那須岳登山

施することにした。

初日は足慣らしのハイキングを行い、11日は那須岳(茶臼岳)登山を行う。

登山好きの友人3人と参加したさくら市氏家、無職黒沢幸子さん(67)は「みんな登ると楽しい。スキの穂も出ていて秋の気配も感じられた」と笑顔で話した。

(文・写真 山口達也)



殺生石周辺でハイキングを楽しむ参加者ら 10日午後3時35分、那須町湯本